

夢科学探検における放射線クイズの実施

*1 上村実也、*2 齋藤希

*1 応用分析技術系、*2 生命資源研究・支援センター

1. はじめに

今回初めての試みとして、大学祭の期間中に開催している夢科学探検にて、放射線クイズや放射線測定等の簡単な実験を実施したので報告する。

時：2014年11月1日（土）10:00～16:00

場所：熊本大学工学部2号館1階玄関ホール

2. 概要

2011年の福島県原子力発電所の事故をきっかけに、放射線やその測定結果について注目が集まっている。それと同時に、科学的根拠のない放射線に対する過剰な不安が広まっていることも事実である。そこで、放射線は空気や土中など身近に存在するものであり、放射線を科学的に理解していただくことを目的とし、放射線に関するクイズを実施した。

クイズの問題は、自然放射線の内訳や放射線の歴史、「放射線」や「放射能」、「半減期」等、用語の意味を問うものであり、全7問出題した。問題とそのヒントを載せた問題用紙を掲示板に貼り、解答用紙は来場者一人ひとりに配り、該当する番号を選んでもらう形式にした。

来場者のそばで、問題の意味や問題に関することについて説明を行い、すべての回答が済むと、参加賞として手作りのプラスチック製のバッジを贈呈した。このバッジは機械系技術職員の方々により作成して頂いたものである。

また、クイズの他、NaIシンチレーションサーベイメーターやGMサーベイメータなどの放射線測定器を用いて、岩石と植物の肥料中の放射性物質の放射線エネルギーや、空間線量の測定を行った。さらに、放射線の飛跡を可視化する霧箱を設置し、説明を行った。

3. 考察・まとめ

来場者は約70名であり、小学生及びご両親、熊本大学所属の留学生等、様々な年齢層の方々によりご参加いただいた。親子で関心をもってクイズに取り組む様子や、バッジの贈呈に喜ぶ様子を伺うことができ、また、放射線測定器の実験から、放射線が身近に存在するを知っていただくことができた。

今回の取組が、放射線に関する科学的な知識を提供する良いきっかけになったことから、来年度も引き続き、この取組を行うことに意義があると言える。

